

## 1

道塚小学校

コミュニティ・スクールモデル事業 実施報告です。  
校長の大場です。

本日の発表は、本校の特色と実態から、  
どのようなCSを作ろうとしているかのまだまだ  
途中ですが、発表させていただきます。  
どうぞよろしくお願いいたします。

導入にあたってとして、まず考えたことは、

## 2

学校の概要・特色・歴史です。

開校83年

蒲田駅から徒歩15分

商業住宅地に本校はあります。

平成27.28年度、令和2.3年に生活総合の研究発表を  
しました。

○本校の、地域支援本部は、令和2年度大田区「社会  
を明るくする運動」の一貫として、長年の児童への教  
育活動の努力が認められ 表彰されています。

○PTA・同窓会・自治会他 青少対 おやじの会は  
児童のために 独自の行事をしています。

○全国大会に出場した、地域のドッチボールクラブ  
や合唱団もあります。

## 3

次に考えたことは、

本校のCSがどうあればよいかです。

そこで、

Csとは、児童に良い影響をあたえるものである。

児童にとって良い影響を与えるとは、具体的に

- ① 児童の安心安全を見守る。
- ② 児童と保護者・それを支える学校・地域のために、  
それぞれでは、できないことを 連携して助け 応援  
するとしました。

## 4

さらに、

連携して児童を助け応援するため必要なことは、

学区の人材・場所・事柄

地域の教育力をいかしきること、とし、

それこそが、地域とともにある学校・

CSなのではないかと、ゴール地点を明確にしました。

## 5

それを一緒に成し遂げるメンバー、

それが、学校運営協議会のメンバーとなります。

本校では、母体である「地域教育連絡協議会」  
メンバーに

2名の新規に加え、13名でスタートしました。

- ① 自治会2名
- ② 青少年・同窓会2名
- ③ 民生児童委員2名
- ④ 地域支援本部担当1名
- ⑤ PTA 会長1名
- ⑥ 地域代表2名
- ⑦ 学校関係者3名 です。

本年度は、CSの中に評価機関も 置いています。

自分達のしたことを自分達で評価するという形での  
CSとなりました。

## 6

CSは 年間4回 実施しました。

土曜授業のある、午前9時から10時です。

主な会の内容です。

4月 年間予定 校長の方針 教育課程の説明

7月 1学期と夏休みの取り組み

12月 自己評価報告書の結果報告

さらに、体力テストの状況報告と共に「体力づくり大作戦」を熟議

2月 次年度の計画と、各団体の取り組み予定

さらに、めざす児童像を熟議して意見交換をしました。

地域の教育力を活かしきるためには、それぞれの団体の年間の行事予定と学校の行事予定と合わせること。

開かれた教育課程に向けて、団体の活動がどのように教育課程と連携できるかなども取り上げました。

## 7

加えて、本校では、平成31年度より 月1回 CSの実働部隊として、「地域共同支援本部」の会議も継続しています。

メンバーは、部員と管理職・担当の教員です。

その時どきに、教育課程上必要な情報交換をしています。

## 8

ここからは、その地域協働支援本部が中心となって実施している具体的な取り組み内容について紹介します。

低学年 国語科 週1回 読み聞かせ

特色は、国語科の内容と連動していること  
読み聞かせた本の履歴を残し、次年度につなげていることです。

## 9

その裏で支えてくれているのが、図書館整備ボランティアです。

特色は整備だけにとどまらず

図書館担当教員と図書委員会とも連携しています。

また、多摩川図書館・図書館整備ボランティア・司書教諭・管理職で「道塚小図書館の会」の会議を年に1回会議を開いています。

## 10

生活科 理科です。

栽培活動の導入に入ってくれる「畑の先生」です。

特色は、地域にが緑少ない、1～4年生まで一人一鉢として栽培活動には重点を置きたいという願いから必要な先生としてお迎えしました。

## 11

また、畑の先生は、地域の方の園芸好きな方を集めて、「栽培クラブ」をつくっています。

「栽培クラブ」は栽培委員会の児童と一緒に活動し、指導助言もしてくれます。

## 12

飼育委員会を指導助言してくれるのは、

「生き物の先生」です。

こちらも動物好きな人を募って「ラビットクラブ」をつくっています。

特色は、本校勤務の警備さんもボランティアとして協力してくれていることです。

### 13

本年度より、  
学力向上部と連携し、補習教室を「自学教室」と改名  
しました。

「宿題先生」と共に、児童は、60分程度家庭学習を  
しています。

主な内容は宿題・自学ノート・タブレットです。

特色は、家庭では宿題が見られないという保護者から  
要望を重視しました。

### 14

こちらも自学教室、土曜日コースです。

### 15

さらに、同じ先生が、登録制で毎月第1土曜日に  
開催する「道塚楽集会」のコースもあります

特色は、ここ数年、継続で、算数が苦手な児童が参加  
していることです。

### 16

人が集まらないことが悩みのイベントだった、  
青少年対主催の運動会は  
令和3年度、土曜授業の中で実施

PTAの行事は、

令和2年度より、学校行事の子供まつりと合同開催  
することで改善を図りました。

土曜日に地域の方が先生となる  
自学教室以外の「ワークショップ」です。

### 17

日本の踊りクラブ  
年間登録制。第1土曜日  
礼儀作法、着付けも学びます。

### 18

クロムブック体験クラブ  
年間登録制。第3土曜日

今後プログラミングへの期待が  
保護者からもあるクラブです。

### 19

ポン抜きゲーム  
これは、囲碁将棋につながるクラブです。  
その都度参加。  
地域の先生の特技で広がりました。

### 20

児童、または、親子で園芸・栽培体験クラブです。  
開催は不定期です。  
本年度は、押し花でしおりを作るワークショップまで  
広がりました。

### 21

夏休みのわくわくスクールです。

◆電気を作って明かりを灯そう

◆筆文字うちわを作ろう

◆ヘアアクセサリを作ろう などがありません。

中でも、薬局体験が大変人気でした。

今後キャリア教育の一貫として、児童が会ってみたい  
人、夢とつながる職業と関係できるわくわくが開催で  
きたらと考えています。

### 22

これは、本校PTAのお母さん方がメンバーとなっ  
ている消毒ボランティアです。  
校舎を半分ずつに分け、  
2人体制で平日夕方に消毒をしてくれました。

### 23

事例11

夏休みには、おやじの会の方が  
「水鉄砲の会 花火大会」を実施してくれました。  
この会には、中学生、高校生が数名ですが参加して  
います。新しい可能性が広がりました。

## 24

そして、今年は、もっと  
授業に地域を活用したい  
社会に開かれた教育課程をしたくて  
校内研究とタイアップして新たな  
可能性に挑戦しました。

## 25

まず、これが学区の地図です。  
この地域工場ミッケマップは、地域の特色である  
小さな町工場を地図におとしたものです。

シールの場所が工場です。  
情報収集には支援本部の方にも  
協力をいただきました。

## 26

このように、工場の写真・住所と☎番号をもとに

## 27

30社以上の工場情報をまとめ活用しました。

## 28

これは、大人のフィールドワークの時の様子です。

## 29

児童は、工場を見学させてもらい取材活動をしました。  
引率は、教員と学校支援本部の方と保護者です。

## 30

これは、そのような工場を取材した5年生が  
お礼にまとめた、カレンダーです。

地域の宣伝になるように、  
働いている人を励ませるようにと つくりました。  
大喜びされました。

## 31

3年生では 工場調べの後、  
「検定問題」をつくりました。  
「検定問題」は保護者会や自治会でもプレゼンしてい  
く予定です。

## 32

6年生は工場の方と製品開発を一緒にしました。  
その様子と流れです。

## 33

4年生は段ボール工場、日本工学院と連携して段ボ  
ールで避難所に必要なものをつくりました。

このように地域の特色を生かして  
社会に開かれた教育課程の作成を一部ですが、  
地域支援本部と教職員の力で授業化することができ

## 34

これは、学区にある建物の写真です。  
幼稚園 商店街 駅です。

ここにいる人、ここにあるもの この場所で  
今後、何ができるのか、どんな出会いがあるか

地域と保護者と学校の力を合わせて  
どんな可能性が生まれるのか  
本気で考えて、行動すればまだまだ可能性は  
広がる気がしています。

## 35

授業に地域を活用して  
社会に開かれた

教育課程を実現する

そのために、地域の教育力を活かすそれが  
地域とともにある学校。

それは、今後さらに、  
学校運営協議会と協力でより図られていきます。

### 36

今後の方向性です。

- 放課後の遊び場が少ない。(場所とCS)
  - 未来のキャリア・夢・挑戦につながるリアルな体験をさせたい。(教育課程とCS)
  - 学習したことを地域で、活かす、補う、学び発信させたい
  - 児童・地域で楽しむ大人との出会わせたい
- 児童・保護者を支える仕組みづくりをしたい(親とCS)  
これらのことについて、学校運営会で協議したと思っています。

### 37

CSの運営に関わる課題です。

#### 1 メンバー

もっと、新しい風と可能性を入れたいのだが・・・

#### 2 教員とCSをどう引き合わせていくか？

働き方改革の中で無理なくできるのか。

#### 3 長期方針をどうするか？

自分がいつまでもできるわけではりません。

以上が道塚小のCSの途中経過報告です。

以上で発表を終わります。

ご清聴ありがとうございました。